

#### 2023 <sup>令和5年5月1日発行</sup> No.68

# 議会だより



#### 行ってきま~す

	審	議	議	案	3月定例会について2~ 4
	_	般	質	問	8人の議員が質問5~11
•	議	会		志…	12

## 121億1300万円

### 次代に夢をつなぐ、

### 持続可能なまちづくり



3月定例会を3月2日から3月17日まで16日間開催しました。

今定例会では、当初予算案件7件をはじめ、補正予算案件3件、条例案件10件、人事案件3件、その他案件3件が提案されたほか、発議1件が審議されました。当初予算案件7件と新規条例3件は各常任委員会に付託し、慎重に審議した結果、全ての議案を原案通り可決しました。

#### 令和5年度 当初予算審查

総務建設·教育民生常任委員会連合審査会

3月7日~9日

教育民生常任委員会

3月10日

本会議に提出された令和5年度当初予算案件は、一般会計予算については両委員会合同の連合審査会で、各特別会計予算については教育民生常任委員会で質疑を行い、詳細な審査を行った上で、次の意見を付して、原案通り可決しました。

|意見||「介護保険施設事業における介護老人保健施設について、今後のあり方を検討されたい。|

#### 令和5年度の 新しい事業等

## 令和5年度一般会計予算

#### 産業の再興と雇用基盤の強化

小豆島の観光窓口の一本化 2,510万円 EXPO 2025小豆島プロジェクト 778万円 小豆島ふるさと村整備基本計画策定事業 2,929万円 地域経済循環創造事業補助金 2,002万円 全国そうめんサミット2023in小豆島 200万円 オリーブ循環型農業支援事業 824万円



小豆島の観光窓口一本化

#### 公共交通の確保と港の再整備

循環バス「内海山手線ルート」実証運行事業 945万円 坂手港観光拠点施設整備事業 15億8,089万円 草壁港浮桟橋長寿命化事業 550万円 池田港駐輪場等整備事業 2,500万円 声浦岸壁地震津波等対策事業 2,970万円



実証運行が始まった循環バス

#### 教育施設の再編による教育・子育て環境の充実

給食費無償化事業4,039万円こども医療費支給事業1,804万円GIGAスクール構想推進事業1,084万円ICT支援員の拡充480万円星城小学校スクールバス購入事業1,650万円



GIGAスクール構想の推進

#### 集落活性と空き家活用

若者住宅取得補助事業2,000万円Uターン者同居リフォーム補助事業1,000万円移住ホームページ特設サイト作成事業440万円空き家資源活用事業1,268万円地域空き家対策推進員設置事業337万円



移住定住に関する情報発信

#### その他の施策

地球温暖化対策実行計画改定事業 374万円 高峰秀子生誕100年記念事業 1億1,263万円 地域の宝物保存活用推進事業 185万円 森林病害虫対策事業(ナラ枯れ防除) 1,894万円 池田地区更新住宅等整備事業 5億7,626万円



ナラ枯れ防除の様子

## 般会計補 予算額 予算 2172万円 (第8号

# 主な補正予算の内容

### 高騰緊急支援給付金 住民税非課税世帯物価 6600万円

です。 3万円を支給するもの るため、1世帯当たり 税非課税世帯を支援す 特に影響の大きい住民 価 高騰 が続く中で、

# 内海放課後児童クラブ

額するものです。 価の見直し等により、増 運営に 対する基準単

06万円

### 空き家活用型事業所整 備補助金 389万円

額するものです。 数が増えたことから、増 補助金活用の申請件

## ふるさと納税推進事業費 4390万円

にポ地 額するものです。 0 場産 かかる手数料等を増 j 増額に伴い、返礼品の 堅 タルサイトの利用 調 なふるさと納税 品等調達費や、

## 給食センター設備修繕料 38万円

繕するものです。 食 (器洗浄システムを修 ボ イラー 蒸気配管や

## 条例 の新規制定 • 部改正

金条例 ポーツ・子育て振興基 りを活かした教育・ス小豆島町オリーブの実

に対する寄付金があ 教育・スポーツ活 財源に充てるため、新たことから、事業費の の たに基金を設置するも です。 活動 つ

#### 法施行条例 豆 島 町 個 人情報保護

報既に保存一 条例を制定するもので 法の施行に関し必要な 報情 存の小豆島町個人情一元化されたため、 の保護に関する法律 報保護制度が個人情地方公共団体の個人 :護条例を廃止し、

### 情報保護審査会条例 島町情報公開 個

小

豆

情報保護審査会が廃止既存の小豆島町個人 2つの審査 情報公開と個人情報の となるため、国と同様に、 機 機能を持

> 新たな諮問機関を設置 するものです。

### 条条小例例豆 例豆の島 5一部を改正する||5町国民健康保険|

と、条例の一部を改正 8千円となったことか 第一時金の金額が発 年4月1日から出産育 年4月1日から出産育 は一時金の金額が発 が改正され、令和5 は一時金の金額が発 が、とか するものです。



# 一部を改正する条例助成に関する条例等の小豆島町子ども医療費

充されたため、所要の齢が9歳年度末まで拡支給事業の補助対象年ら香川県乳幼児医療費 改正を行うものです。

#### 発 議

人権擁護委員

現 在

ロの委員

である中

## 報の保護に関する条例 小豆島町議会の個

情報の適正な取り扱 に一元化されたが、議報の保護に関する法律 情 するものです。 会は適用除外となるた :報保護制度が個人情 関して、条例を制定 地 報の適正な取り扱い 議会における個人 方公共団体の個人

月1日から3年間です。

任期は、令和5

年 7

に適任」との答申を行 員として推薦すること ゆみ氏を「引き続き委 山知子氏および八木さ

いました。

# 件

### 教育委員

申を行いました。 続き委員として任命す る真砂高昭氏を「引き 現在の教育委員であ ることに同意」との答

月12日から4年間です。任期は、令和5年5



真砂 高昭 氏

口域

ック統括センター 水道企業団

ょ

水わ

会を開催し、

、香川県広

小豆

3月17日に全員協

全員協

議

会

状況について説明を れる事業とダムの貯 り、令和5年度に行

けました。

八木 さゆみ 氏





#### 3月定例会 一般質問

今期定例会の一般質問を3月16日に行い、8人が登壇しました。

-般質問とは、議員が町民の代表として、町政全般にわたって事務の執行状況や将来の方針 などについて質問し、説明や報告を求めるものです。

#### 豐弘 (5P)髙尾

- 農作物を利用した「カーボンマイナスプロ ジェクト の取り組みは
- •「食の多様性」を学べる場の提供を

#### 傳夫 藤本 (6P)

• 池田地区の国道バイパス事業への取り組みは

#### (6P)

• 航路再開に向けての対応は

#### のぶゅき **信之** (7P)

- 防犯灯設置支援事業の対象拡大を
- 町のIT施策の進捗状況は
- イノシシやシカ対策にグレーチングの使用は

#### はうずけ 塩田 (8P)

- ・産業の再生・雇用問題への対策を
- 観光協会等の統合のビジョンは
- 住宅問題の対策は

#### 満 羽田 (9P)

- 池田港臨時駐車場の土地の活用は
- 安田旧役場跡地の活用は
- ・草壁港の活用は
- 住民との町政懇談会の開催は

#### (10P)

- 町長の政治姿勢を問う
- 保育所などの子育て支援の拡充を
- 「災害バンダナ」の導入を
- 帯状疱疹のワクチン接種に助成を

#### (11P)

- 産業振興への取り組みは
- 草壁高松航路再開の再検討を
- 小学校統合についての取り組みは



町

研

究を進

いきた

D

■一般質問を録画配信しています。右のQRコードを読み取ると、小豆島町ホーム ページ内から視聴できます。(YouTube にリンクします。)

者も 内でも学べる場の 万を持つ人がいる。 い 、それを求める旅行いものがたくさんあ(問) 小豆島にはおい 様々な食への考え 多くいる。その中

イメージの蛍ヒこうに境に配慮したブランド オ炭にすることで、があり、それらをバ いて がると考えるが。 多くの り、それらをバイ フードダイバーシ の未利用資源業活動にお



高尾 とよひろ 豊弘 議員

ち

その 畑 できる。 心で育

ŋ

を推

進

7

場

ラ 整用 るものと考えている。 社でン へ、大気中のCRボや土壌改良効果 パイオ炭は農場 社会の実現に貢献でいくことは、脱岸 らすことが マ づくり yることで、 p IIハイオ炭は農地に -ナスに取り Ĩ ボ を ン CO2を 対果があ 、PH調 に農地に使 進可 りカー め能 ュ る で炭 組 1 な き素んボト上ま

た農作物は、環境に配ができるので、今後、ができるので、今後、ができるので、今後、ができるので、今後、

な食品や料理が存化や宗教等により様 者の受け入る。インバ Ļ 食の多様化が進んでや医療的な制限など 答 の受け入れ環境にお限らず、外国人労働 も非常 また健富 インバウンド誘客 世界の思想、 康上 似など、 の 存 理 様 W 由在 々

> ことができる機会島民や事業者が う、 続の供 可 人 Ĺ 組 みだ。 々 能 の 1 か小 な こら選ば 取り組む 豆島 F 島と ダ 1 が なる 会をを れ、 み バ 世 が 1 界 推シよ持中提ぶ

# 池田地区の国道バイパ

# 「県と相談しながら計画を進 めていきたい」 の取り組みは

町

町



池田地区の 玉

住 加

ろな要望も県に寄せら 動き出すと考える。バ れていると聞く。 道バイパス計画が、 イパスに関するいろい 民に説明されて事業が 質問 線 要と考えている。 て、

化

も、100年に一度と や、10年20年先のまち いえる事業であること ものがあるのか。 して行う事業はどんな 町がバイパスに対応 県ができないことで

づくりを考えて計画で

答弁 現時点で、本事 置き、県と相談しながら 周りのバランス等も考 計画を進めていきたい。 れるが、 横に細い残地が考えら 中であり、池田大川の のまちづくりを念頭に えて検討していきたい。 町としても池田地区 現在、道路詳細設計 面積、 規模や

る予定は、町道亀山線 害時の小豆島中央病院 交通安全対策および災 ことにより交通量の増 バイパスと接続される 道路拡幅事業である。 業と併せて町が実施す のアクセスルート複 が予測されるため、 道路拡幅改良が必 の接続道路とし



バイパスの起点となる 池田大池西交差点付近

# 航路再開に向けての対応は

# 県に対して要望 香川 、県が中心となって、 国の協議の場を開催したい



質問 員会に申告、審査中で して現在、公正取引委 航路の件に関

も提出している。 う多くの方々が存在し ように応じるつもりか。 ている。町長は、どの と議論してほしいとい てほしい、町議会でもっ 草壁航路を再開させ

重

の判断、

答弁

壁高松航路は必要であ つもりは全くなく、 答 弁 署名を軽視する 草

いと言って頂いた。

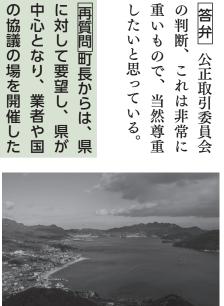
て、 り、今はチャンスが訪 流人口の増加を目指し れるよう、観光人口、 いる所存である。 全力を尽くしてま 交

議をお願いしたいが 業者や住民を交えた会 場は、必ず国、 いかがか。 今回の会議や協議の 県、 ĦŢ

その判断についてどの 会の判断が出た場合、 ように考えるのか。 再質問公正取引委員

再開を望む方々の署名 ある。草壁高松航路の

うことなので、 たいと思っている。 向も踏まえて、 答弁』県を中心でとい 開催 県の意



目指

į

国主導で住民

# 設設 を

#### 本 現 行 的 に制 0 補 度 助 (の見直しを図りたい) 制 度 の改廃も含めて、 対象拡大

町



はどうか。 事業の対象を拡大して 質問 防犯灯設置支援

ある。機能や耐久性に請実績が少ない状況にが、指摘のとおり、申例に基づく制度である 富み、 る。 で安心なまちづくり条助金は、小豆島町安全 イプの機材を探してい より低コストタ 防 犯灯設 置 補

い。 制度の見直しを図りた 廃も含めて、抜本的に 現 行の補助 抜本的に助制度の改

## てはどうか。 同して防犯灯を設置し 再質問町と自治会が共

度の年限をかけて順次内は広いので、ある程 答弁 整備を前提として考え ていきたい。ただ、 L |備を図りたい。 ED防犯灯で、 蓄電池を備えた ある程 町の

を含めるかどうかも含 また、 て考えていきたい。 見直すので、 9ので、自治会制度を抜本的



れている。 ンは、 サービスの向上につな よる人的資源 向上と業務の効率化に ランスフォーメーショ い コンビニ交付はできな 質問
各種証明書等の 答弁」指摘のとおり、 か。 が進めるデジタルト 住民の を、 利便性の が期待さ 行政

えている。 こかの時点で当然なが ては、マイナンバーカー ら導入すべきものと考 交付を受けることがで 等がコンビニで24時間 とにより、 ドで本人認証を行うこ 現在、 コンビニ交付につい 住民の利便性の向 つながるため、 費用の 各種証明書 の軽減を یج

#### ンビニ交付は 施策 動向を見ながら の進捗状 検討したい」 況 は

町

**(7)** 

しんちょく

業務の標準化が進めら れている。 戸籍や税等の基幹

Ļ を導入するハードル し、コンビニ交付などル化のコストも低廉化 を見ながら導入を検討 下がるの したい。 これにより、 で、 玉 四の動向-ドルが デジ タ

で遅れているが。 ついて小豆島町は県内 再質問 コンビニ交付に

たい。 それなりのコストがか かなければならないが、向上は、常に図ってい 答 弁 かるので、 住民サービスの 慎重に考え



## 対 策 の使 用は

町 被害軽減に 制度設 計に努めて つながる <

質問 使用してはどうか。 対策にグレーチングを イノシシやシカ

いている。

防止効果が らない習性があり、グ チングの上を歩きたが を有する動物は、グレー 助 地や集落を柵で囲う補 自治会等を対象に、 被害対策は、農業者や イノシシやシカの侵入 レーチングの設置は、 答弁。本町の有害鳥獣 止効果があるといわ イノシシ等のひづめ 事業を実施している。 農

は、 いる補助事業について 現在、県が実施して の1を補助している 00万円を上限に3 設置に対し、 レーチングと柵の併 これまで補助事業 平成31年4月から 用実績はないと 事業費

> 度設計に努めていく。 被害軽減につながる制 も研究しながら、随時いが、他市町の事例等 いが、他市町の事例等助対象とする考えはな 点でグレーチングを補本町においては、現時 こうした現状 から、 随時 柵を使った侵入防止対策

# 産業の再生 • 雇用問題 、の対策を

# 町 「産業界の主体的な取り組みに 対し全力で応援したい」



うゆ、そうめんや石材 費などの高騰による諸 で疲弊して、原料、副 等の各企業はコロナ禍 資材、燃料や水道光熱 質問 つくだ煮、 しょ

げが求められている。 済・産業は支えられる られる。また従業員と 異業種合同などの抜本 的な対策が必要と考え 難しくなっている。 家族の生活向上のため 観光だけでは島の経 企業合同、協業化や 雇用の維持と賃上

> るのか。 行政主導の具体策はあ 産業の再生を目指した ンク等を巻き込んでの とは考えられない。産 業支援財団やシンクタ

ではなく、今必要だと 痛感するが、いかがか。 た草壁高松航路は将来 また産業を支えてき

り、 油価格 2カ年に渡って地域産 的 答弁 た新規施策として、 業持続化給付金を、 主体的な取り組みに対 な事業運営や産業界の れの企業や団体の主体 を目指すには、それぞ し全力で応援したい。 町独自の施策として、 取り組みが必要であ 企業等の持続可能 地場産業の再興 · 物価高騰等対 ま 原

> 金制度を活用した地域 貨物自動車運送事業者 策事業者応援給付金や 応援給付金を支給した。 総務省の交付

連携事業にも取り組ん 設する。 でいく。 市茨木市との産業振興 また、 姉妹都

興にとって重要な役割 知している。 を担っていることは承 また、 航路は産業振

危機的状況で、

対応が

経費増に打つ手がない



草壁港

# 観光協会等の統合のビジョンは

# 町 「小豆島観光協会で意思決定されるものである」

経済循環創造事業を創 先のビジョンが示され の事業を継続するため、 質問 ていない。長年の懸案事 けてのことだが、その 2カ年の移行期間を設 化しつつも部会制を残 したのは、現在実行中 観光窓口を一本

は。 現時点での町長の考え はしてこなかったのか。 そういう意味での検討

答弁 ついては、 組織や予算等に 小豆島観光

項であったわけだが、 されるものである。 協会において意思決定 就任以降、 島は一つ

考えている。 のが観光振興であると ており、その最たるも として様々な施策にお いて土庄町と連携を図っ

## 住 宅問題 の対策は

# 町 本町独自の 施策も実行している」

用年数が迫ってきてい 54人となっている。 以上の独居老人が12 令和5年1月末で65歳 れるがその対策は。 は126戸とされてい 令和元年度の危険住宅 家数は1973戸で 冢等が増加すると思わ 質問一令和元年の空き また、町営住宅の耐 今後ますます空き

> るが、 はどうなっているのか。 その現状と対策

策も実行している。 猶予等、 件緩和や撤去後の増税 家等除却支援事業の要 答弁 われる。老朽危険空き ますます増加すると思 町内の空き家は 本町独自 「の施

用事業をモデル事業と

また、空き家資源活

ても解体撤去等を予定 制度などを推進する。 めの新築住宅取得助成 い世代の定住促進のた 町営住宅などにおい 若

してスタートした。 している。

# 池 田港臨時駐車場の土地 用は

## 一今後も駐車場で使用し、 ふるさと村の再整備計画 産直は で協議 したい



として使用する予定か。 いては、今後も駐車場 車場の土地の活用につ 産直を移転し、規模を 質問 また、池田港のJA 池田 一港臨 時 駐

> として整備し、 や観光につながる拠点 物、各産業の産直拠点 拡大して農産物、水産 きないのか。 利用で

和 駐車場不足は解消され で287区画あるが、 備し、現在141台分 0 答 弁 区画を確保して全体 元年度と3年度に整 臨時駐車場は令

> のと認識している。 ておらず、産直の移転

## 草壁港 の活用 は

町

活性化に向

けて積極

的に

取り組みた

b

に向けて取り組むとあ クルーズ船の寄港促進 ついて、所信にヨット 問
草壁港の活用に

立地の活用については ていくのか。また、 整備をどのように進め 寄港に係る環境周辺 埋

> 活性化に向けて積極的 船の誘致に最適な環境 パーヨットやクルーズ にあるので、草壁港の 答弁 草壁港は、スー

整備に取り組んでおり、 草壁浮桟橋、 に取り組みたい。既に 連絡橋 0

誘致に向けた環境を整 えていきたい。

> 進めていきたい。 事業者への働きかけを の誘致に向けて、 ストラン、マリーナ等 業者によるホテルやレ り一層強化し、 て は、県との連携をよ 埋立地の活用に 民間事 県や 2

住民との町政懇談会の開催は

町 『まちの情報お届け講座』 極的に町民との対話に取り組む。

の町政懇談会を開催 上で重要である住民と したが、 てはどうか。 質問 町長は所信表明 町政を進める

のを待って有効な活用 な残地面積が確定する が確定し、最終的 町民の皆様の声を聞く 答 弁 ことがおろそかになっ 私の信条であ

方法を検討したい。

せていただくので、 0 様の元にお伺いし、 だくと、 講座』を利用していた る『まちの情報お届 ないが、現行制度にあ 取り 報についてお話しさ 町政懇談会は開催 組みや暮らし 私や職員が皆 し

( 小豆島町

てはいけない。 用してもらいたい。

0 け まちの情報お届け講座 244mm

般質問

#### 協議したい。 活性化協議会で慎重に あるので、 として、 の移転も選択肢の一つ と併せ、 るさと村の再整備計 や規模拡大も難しいも 産直については、「ふ ふるさと村 利害関係者も ふるさと村 画 る。 どうか。

が、小豆島東消防署前町の重要な資産である

答弁

旧役場跡

地

は

の活用や現況はどう

安田旧役場跡地

までの区間は、国道と

村線と南回り福田線の

バス停統合に活用する

面

積

有効な活用方法を検討.

したい

町

一残地面積が確定するのを待って

安田旧役場跡地

の活用は

なっているのか。

から牟礼病院前交差点

# **|長の政治姿勢を問う**

町 国への要望はしない」



るのではなく、福祉の い、国の出先機関とな の政治に自治体が従 撃を受けている今、国 らしと経営が大きな打 役割を果たすことが大 増進という地方自治の 質問 物価高騰で暮

保護制度を壊すという 地方自治体の個人情報 利用・提供するために、 や特定の企業が自由に 住民の個人情報を、 重大な問題があるが 園都市国家構想」には、 政府の「デジタル田

> げ、家計を直接支援す める考えはないか。 る消費税減税を国に求

当然だ。あらゆる施策 盛り込んでおり、決 答 弁 が な責務だということは つながる。 い。福祉の増進が重要 て国の出先機関ではな 住民の福祉の増進に 独自 の施 策

壊すとの指摘は当たら と考える。 個人情報保護制度を 適切に保護される

費税も、 論すべきこと。要望を 上げてもどうなるもの 個人情報保護法も消 国会の場で議

士を増やすべきでは。



物価全体を引き下

# 保育所などの子育て 支援の拡充を

町 「院内保育所・ 病児保育所を拡充する」

の院内保育所が認可保 るのか。 育所になってどう変わ 質問」小豆島中央病院

どのために正規の保育 と保育園留学の検討を。 めて、一時保育の拡充 も受け入れることも含 きないという声がある ーションをする人など 保育士の負担軽減な 2拠点生活やワーケ 病児保育所が利用で 拡充できないか。

る。 答弁 院職員の土曜日の急な 事業者に変更する。 になり、 出勤などにも対応でき 利用人数30人のう 地域型保育 委託先も町内 病 所

> 応できるようになる。 1人だったが、2人雇 ち地域枠10人とする。 用し複数の疾患にも対 病児保育所は保育士

園やリトル・ビーンズ れた方も利用が可能。 ており、島外から来ら で一時預かりを実施し せいけんじこども

小豆島こどもセンタ

だが、 は正規職員で行う方針 正規職員の退職補充 応募が少ない。



に費用助成を。

# 災害バンダナ」の導入を

町 等の配置とともに検討したい **「コミュニケーションボード** 

ンダナ」の導入を。 けやすくする「災害バ 支援を届けるために 災害時、必要な情報や 質問 に知らせ、手助けを受 障害があることを周り 聴覚障害者らに

> ともに検討したい。 ワイトボードの配置と ンボードや筆談用の 答弁
> コミュニケーショ ホ

帯状疱疹の

# ワクチン接種に助成な

町 クチン接種促進のため 状に現れ、80歳までに 後遺症もある。予防ワ 約3人に1人が発症し た痛みが体の片側に帯 い発疹やピリピリとし 質問」帯状疱疹は、 助成の予定はないが、 必要に応じて検討したい 赤 あり、 動向を注視し、 予定はない。 応じて検討したい。

答弁」任意接種対象で 現状では助成の 国や県の 必要に



淳

#### で、 いる。 的な施策を述べられて 質問 観光について積極 町長は所信の中

必要があると思うが。 に手を入れ磨き上げる る必要や島の観光資源 民みんなで来島したお 客様をもてなす島にす その前提として、 島

ぞれ磨き上げていくこ 目指すためには、 述べた。 観光地に向けた所信を えて世界から選ばれる る。その必要性を踏ま の指摘は私も同感であ 心を持つ必要があると をかけ、 答弁 地域資源に磨き 地域の再興を おもてなしの それ

## 町 産業振興へ 意欲ある事業者の主体的な 取り組みを全力で応援する. 、の取り組みは

とが必要であると思っ ている。

が発展しない限り島の 産業は製造業。製造業 観光について述べられ いての所信は、大部分 発展はない。 ているが、島の主要な |再質問||町長の産業につ

新しい産業の創設や企 構築をしないと島の活 性化はないと思うが。 業の誘致等、産業の再 既存の産業の再構築、

る。 施策であると考えてい 致 新産業の創設や企業誘 答弁 は、 化に向けた柱となる いずれも産業活 産業の再構築、

意欲ある事業者の主

体的な取り組みを全力 方面にお声がけをして 業誘致等についても各 編成を行っている。 充など、 もとより既存事業の拡 においても新規施策は に基づき、令和5年度 で応援するという方針 積極的な予算 企

# いる。

町



しょうゆ工場(醤の郷)

#### 町長の考えは。 だと思う。また、土庄 質 問 参考になると思うが 小学校や統合が成功し の話し合いが一番大切 者や地域等、 いては、先生方、保護 た学校の視察を行えば 小学校統合につ 関係者と ないか。

大きくなるので不登校 等の子どもが増えるの フリースクール的な学 ではないかと思うが 統合小学校は規模が

## 草壁高松航 路 再開 の再検討を

# 現時点では航路業者が求める 参入条件を満たせる状況にない

町

がいる。 名も相当集まってい 件が整えば走らせても よいという航路事業者 質問 草壁航路を、 航路再開の署

向けて動いていただき る。この民意を受けて 草壁高松航路の再開に

長の見解は。 たいと熱望するが、 町

いる。 っている航路業者が は走らせてもよいと言 な航路であると考えて 答 弁 しかし現時点で 草壁航路は必要

小学校統合に 「計画段階から関係各位と意見交換の場を設ける」 ついての取り組み 校や学級を作る必要は

は、

担任、

養護教諭や

との協議を進めたい。 いる。 答弁 のために、統合した小 の方々や保護者の方々 の検討に取りかかって より良い学校づくり それをもって地域 現在、 教育大綱

いる。

また、

郡内には別

寧な取り組みを行って る等、個々に応じた丁 等による相談を実施す スクールカウンセラー

参考にしたい。 なっている児童に対して 不登校や休みがちに

学校の事例があるので

学習などの支援を行

登校できるようサ

室もあり、

生活改善や

教室での対応や若竹教

せる状況にない。 求める参入条件を満た

草壁港

は

# 全国町村議会議長会表彰

谷

康 男

議員

## 谷康男議員が、 町村議会議

績がたたえられ、 地域の振興発展に貢献した功 員として、 議会の運営および 全国町村議

場合、

町長などが問い返すこ

に対して不明点や疑義のある

おいて、

議員の質問や質疑等

とをいいます。

#### 全 協 議 会

いて協議を行いました。 催 反問権とは、議会の会議に 1月30日に全員協議会を開 反問権の取り扱いにつ

もに、 会を目指します。 や争点を明確にし、 めることができます。 員の質問力の向上を図るとと 導入することで、 住民にわかりやすい議 また、 議論を深 より論点 議

月

1615

日

会議長会より表彰されました。

#### 月

広報編集特別委員会

らせします。

議会活動についてお知1月~3月までの主な

1

30 27 20 17 13 日日日日

▼13年ぶりに日本代表

今までと違う春がやつ だ卯月桜も一段落して、いつもより咲き急い

てきました。

Cで優勝を果たし、

るい話題を提供してく

香川県広報発行町議会連絡協議会研修会

議会運営委員会

第1回臨時会

全員協議会 総務建設常任委員会

香川県広域水道企業団議会定例会

▼4年ぶりにコロナ禍によ

れました。

る行動制限がない春を

い中で子どもたちや迎え、戸惑いを隠せな

理事会・総会・研修会 全国離島振興市町村議会議長会 小豆郡町議会議長会

9 日 2 日

日 香川県町村議会議長会

議会運営委員会 杳川県離島振興市町村議会議長会総会

2

22 日

香川県後期高齢者医療広域連合議会定例会 総務建設常任委員会

27 日

2 日 第1回定例会 (1日目

▼方、

世の中は食品や

電気料金などあらゆる

9月 .7 日 連合審査会

教育民生常任委員会総務建設常任委員会

10

日

議会運営委員会 伝法川防災溜池事業組合議会定例会

**▼このような中、これま** 

苦しく喘いでいます。

て賃上げが叫ばれる 家計や経済を圧迫し ものの価格が高騰し、

人々や地方経済は

夏祭り、マラソン大会、

でできなかった運動会、

第1回定例会(2日目) 広報編集特別委員会

3

16 13 日 日

月

第1回定例会(3日目)

17

日

小豆地区広域行政事務組合議会定例会 小豆島中央病院企業団議会定例会 全員協議会

2423 日日

編 集

後

記

塩田 洋介 が戻ってくるでしょう。 が始まりみんなの笑顔 秋祭りなど楽しい行事

記

本紙に対する お問い合わせは

#### 小豆島町議会広報編集特別委員会 小豆島町議会 ■発行 ■編集

とありますが、人の世 年歳歳人同じからず〉 年歳歳花相似たり

た花の季節は巡ってき がどう変わろうが、ま

香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 〒761−4492 TEL (0879) 82-7060 FAX (0879) 82-7061 E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp

▼遠い昔の漢詩に

会える春。

人々の明るい笑顔に出